

働き方改革実現のためには？

技術力高め省力化を推進

大成ロテックは、長時間労働の是正と週休2日制を推進するために策定した「働き方改革実行計画」を2018年4月から施行する。「課題は大きい、将来を考えるとやらなければならないというのが業界の考えであり、われわれの考えである。業界の模範になりたい」と不転の覚悟で改革に臨む西田義則社長に、実現に向けた今後の取り組みを聞いた。

▶1面参照

「**そと**」が聞きたい

量支援システムやアプリケーションなどを積極的に導入する。

働き方改革実現に向け、重要視するのは技術力による生産性向上だ。国土交通省がICT土工やICT舗装で推進する測量の効率化は「最も省力化できる工程」とし、丁張りを設置せずに構造物の床掘りから掘え付けまでの一連の作業が可能な専用測量ソフトウェア「工事測量ガイダンスシステム測構ナビ3D」を始め、測



大成ロテック社長

にしだ よしのり
西田 義則氏

大規模な造成工事や舗装工事をモデル現場として、カメラとTVモニターを使い、現場に行かなくても遠隔管理できる監督・監視システムの導入を進める。「まずは現場と事務所をつなぐが、現場の条件によっては事務所から管理することもできる。計画の実現には必要となるので導入を進めていく」

大規模な造成工事や舗装工事をモデル現場として、カメラとTVモニターを使い、現場に行かなくても遠隔管理できる監督・監視システムの導入を進める。「まずは現場と事務所をつなぐが、現場の条件によっては事務所から管理することもできる。計画の実現には必要となるので導入を進めていく」

社員教育も強力に推進する。目標実現に向けては「まず社員が達成するという強い意識を持たないといけない」と説き、全社員を対象としたeラーニングで改正労働基準法の内容や働き方改革実行計画の詳細を周知して労働時間削減への意識向上を図る。また、「社員だけではなく技能者のレベルアップも必要」となるため、マイスター制度の強化や教育の充実により協力会社の能力も高めていく。

「各現場での一人ひとりの時間外労働時間の見える化の取り組みをさらに強化し、人員の配置などを効率化する」。繁忙となる現場の立ち上げ時や竣工時は本社から支援チームを派遣し「必要な個所に必要な人員を置く効率的な人事計画を強力に進める」方針だ。また、「現場が遠隔地となる場合の移動時間が負担となる」ため、事務所として使えるオフィスカーも積極的に活用する。既に数台導入しており、さらなる活用を進めていく。

したコンクリートの運搬・品質管理システム「TCIM/Concrete」を打設前の適切な配車や施工速度の調整、コンクリートの可使用時間の確認などに活用しているが、これをさらに普及し「グループとしてできることを進めていく」考えだ。

「各現場での一人ひとりの時間外労働時間の見える化の取り組みをさらに強化し、人員の配置などを効率化する」。繁忙となる現場の立ち上げ時や竣工時は本社から支援チームを派遣し「必要な個所に必要な人員を置く効率的な人事計画を強力に進める」方針だ。また、「現場が遠隔地となる場合の移動時間が負担となる」ため、事務所として使えるオフィスカーも積極的に活用する。既に数台導入しており、さらなる活用を進めていく。

週休2日の実現には協力会社の処遇も大きな課題とな

る。「技能者の生活もあるため、いまの水準を下げることは考えていない。ここを確保するためにも設備、機械の投資により生産性を高める」とし、あわせて「自助努力だけでは難しい部分もある。業界として発注者にも理解をいただいて達成したい」と力を込める。